

平成30年10月11日

(あて先) 一宮市長

&lt;申請者&gt;

所在地 一宮市千秋町加茂字新出12

団体名 加茂防犯パトロール隊

代表者 職・氏名 隊長 後藤 俊彦

## 一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第5条の規定により、下記のとおり申請します。

## 記

1 事業の名称	自主防犯パトロール活動		
2 事業の分野  〔主たる分野を一つ 選択し、○で囲んで ください。〕	保健・医療・福祉 観光の振興 環境の保全 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他( )	まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護
3 支援金交付申請額	53,200円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	83,800円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	79,800円
当該事業によって得られる収入 (c)	0円
支援金交付申請額※ 上限:「(b)×2/3」または「(a)-(c)」のいずれか高くない方	53,200円

※ 1円未満切捨て

## 4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4 (片面印刷) とする。

一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	加茂防犯パトロール隊		
市内事務所の所在地	〒491-0801 一宮市千秋町加茂字新出12		
代表者職・氏名	隊長 後藤 俊彦		
設立年月	平成23年7月	構成員の人数	25人
U R L	http://		
連絡先 ※この申請に関する 問合せに対応できる方	(担当者氏名) 後藤 俊彦		
	電 話	0586-77-3338	F A X
	E-mail		
団 体 の 目 的	① 自主防犯活動の活性化 ② 住民の防犯意識の高揚と防犯パトロール活動に対する理解の促進 ③ 安全で安心な地域づくりの創設		
主 な 事 業 内 容	① 小学生の登下校時、徒歩による見守り活動 ② 徒歩による地域の防犯パトロール活動 ③ 青色パトロール車にての夜間防犯パトロール活動 ④ 地元防災会と連携し、救命救急講習会の開催		
主 な 活 動 の 実 績	① 登下校時における児童が不審者や交通事故に遭わないように、出校日はすべて見守り活動を実施している ② 徒歩によるパトロールは、日暮れから夜8時頃まで3～4人のグループで、地域の防犯パトロール活動を実施している ③ 青色パトロール車は、定期として週3回、その他不定期でも千秋小学校区内の夜間防犯パトロール活動を実施している ④ 一宮消防署指導の下、地元防災会と連携し心肺蘇生訓練等を年1回実施し、その機会に侵入盗対策など地域防犯の重要性を参加者に啓発している		
今年度予算額	141,900円	昨年度決算額	140,153円
条例第2条第3項に掲げる要件について	<input checked="" type="checkbox"/> すべて満たしている ・ <input type="checkbox"/> 一部または全部満たしていない		
市からの他の補助金等の有無	有（補助金等の名称： _____ ） ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

<p>団体名</p>	<p>加茂防犯パトロール隊</p>
<p>事業の名称</p>	<p>自主防犯パトロール活動</p>
<p>事業の内容</p>	<p>(1) 実施期間（準備期間や後処理期間も含めてください） 平成31年4月1日 ～ 平成32年3月31日</p> <p>(2) 実施場所 千秋小学校区</p> <p>(3) 受益対象者 千秋小学校区内の住民</p> <p>(4) 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の登下校時の見守りは、およそ10名程度の隊員が参加し、特に低学年の登下校時を重点に活動をする。</li> <li>・防犯パトロールは、徒歩と青色回転灯搭載車両の二通りで活動をする。 *徒歩パトロールは、ウオキングを兼ねた夕方を中心に活動をする。 *青色回転灯搭載車によるパトロールは、原則夜間（夜7時～9時）を中心に週3回の巡回を実施するほか昼間の不定期巡回も実施する。</li> </ul> <p>(5) 具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の登下校時の見守りは、児童に付き添う形での送り迎えをし、すれ違う人々に挨拶をするなど不審者及び交通事故の防止に努める。</li> <li>・徒歩によるパトロールは、主に隊員の家族（女性）やお年寄りが夕方のウオキング時間帯を利用し、愛知県支給の帽子とチョッキ（反射付）を着用のうえ校区内を巡回。もし、不審者及び不審車両等を発見した場合は、班長または隊長に連絡。隊長は、放置車両等は地元交番へ、不審者及び不審車両等は一宮警察署に通報する。</li> <li>・青色回転灯搭載車によるパトロールは、6班に分かれ第2・第4週の月・水・金曜日グループと第1・第3週の火・木・土曜日グループで、定期としては午後7時～9時までの間の1時間程度、校区内を巡回網羅し不審者・不審車両・放置自転車や放置バイクに注意して活動をしている。また、不定期（曜日・時間帯を定めない）でのパトロールも実施している。</li> </ul>
<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<p>過去5年で車載用拡声装置を順次6台購入し青パト巡回時に防犯啓発を実施してきたが、青色回転灯との併用による音声啓発は相乗効果があったと考えています。</p> <p>しかしながら車載用拡声装置の新規購入は一旦中止し、既に保有済の6セットを11車の青パトに相互利用を図ることで今後も音声による防犯啓発を実施してまいりたい。</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<p>一宮市内の刑法犯認知件数は8月末現在 1,608 件と昨年と比較して 493 件の減少 (▼23.5%)。5年前の 2,521 件と比べても、ここ数年犯罪総件数は着実に減少をしてきました。中でも重点犯罪と言われる侵入盗・自転車盗も前年対比で▼40.4%・▼13.7%とそれぞれ減少していますが、それでも最近では忍込み被害が愛知県下でも増加傾向にあります。(8月比較)</p> <p>私ども千秋地区においても、住宅対象侵入盗被害が6件と依然として多く発生をしています。これは交通の利便性の良い都市環境ということだけでなく、鍵を掛けない、事務所等に現金を保管するなど自分だけは大丈夫との慢性化した人々の心の問題も多分にあるのではないのでしょうか。まさに「自分に起きるまでは他人事」です。</p> <p>私たち加茂防犯パトロール隊は、地域の犯罪被害を少しでも減らし「安全で安心な町づくり」を後押しすべく、子供から大人まですれ違う人に笑顔で声掛けを行い、犯罪の目を摘むことを目指します。</p> <p>また、歩行や夜間の青パト巡回を通して地域住民に防犯意識の高揚と自主防犯パトロール活動への理解の促進を一層努めてまいります。</p>	
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p>私たち自主防犯パトロール活動は「自分達の地域は自分達で守ろう」との一念で活動をしており、メンバーも定年後の人から現役で職業に就いている人と年齢もバラバラです。警察に登録している青パト車両11台はすべて個人所有の車。この維持管理費用はガソリン代としての1キロ当たり20円の公費補助のみです。</p> <p>通学児童の見守り活動203日、青パトによる夜間巡回活動139日(29年度決算値)、いずれの活動も雨の日も、雪の日も、春夏秋冬計画したスケジュールを毎年継続していかなければなりません。</p> <p>これに要する財源は、支援制度で頂ける金額以外すべて隊員からの寄付というのが現状です。</p> <p>仮に、本事業が受益者負担のみでの活動を求められるならば事業の継続は非常に困難になります。</p> <p>このような状況下で、地域の安全を守る担い手として期待される防犯パトロール隊を支援していただくことは極めて公益性が高いと思量されます。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期(月)</p> <p>平成31年 4月～ 32年3月</p> <p>平成32年 1月頃</p>	<p>内 容</p> <p>① 小学校の登下校時の徒歩による見守り活動 出校日はすべて活動をする。</p> <p>② 徒歩によるパトロール活動 夕食後のウォーキングを兼ねて雨天以外はほぼ毎日実施。</p> <p>③ 青色回転灯搭載車両によるパトロール活動 定期夜間パトロール活動は週3日 月・水・金と火・木・土の隔週で実施。他に不定期パトロールも。</p> <p>防災会と連携した救命救急訓練の実施</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4(片面印刷)とする。  
備考2 ページ数は2ページまでとする。

一宮市市民活動支援事業に係る収支予算書

団 体 名 加茂防犯パトロール隊

事業の名称 自主防犯パトロール活動

収入

科 目	金額 (円)	内 訳
一宮市支援金	53,200	
事業収入	0	
自主財源	30,600	<input checked="" type="checkbox"/> 会費収入・寄付収入より <input type="checkbox"/> 他事業の収入より <input type="checkbox"/> その他 ( )
計	83,800	

支出

科 目	金額 (円)	左記のうち 支援金算出額 (円)
報償費	0	0
旅費	60,000	56,000
印刷製本、消耗品費	16,300	16,300
食糧費	0	0
通信費、手数料	7,500	7,500
備品費	0	0
人件費	0	0
使用料、賃借料	0	0
その他	0	0
計	83,800	79,800

支出科目の内訳

科 目	金額 (円)	内 訳※ <sup>1</sup>
	支援金算出額 (円)	
報償費	0	
	0	
旅費	60,000	ガソリン 走行距離 2,800 km ÷ 7km/ℓ = 400ℓ 400ℓ × 150 円 = 60,000 円 (2,800km × 20 円 = 56,000 円)
	56,000	
印刷製本、 消耗品費	16,300	印刷費 400 円 × 12 月 = 4,800 円 (コピー・写真プリント等) 文具費 5,500 円 (インク代) 消耗品費 1,000 円 × 6 個 = 6,000 円 (三連ソケット) 脱着式拡 声器 6 個 (30 年度迄に装備済) を残り 6 台の青パト車相互利 用するため
	16,300	
食糧費	0	
	0	
通信費、 手数料	7,500	ボランティア保険料 300 円 × 25 人 = 7,500 円
	7,500	
備品費※ <sup>2</sup>	0	
	0	
人件費	0	
	0	
使用料、 賃借料	0	
	0	
その他	0	
	0	

※<sup>1</sup> 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを ( ) 書きで再掲してください。

例) スタッフ費用 @1,000 円 × 5h × 2 人 = 10,000 円 (@900 円 × 5h × 2 人 = 9,000 円)

※<sup>2</sup> 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 (片面印刷) とする。